

県原発検証作業は徹底してやるべき

県知事への働きかけを強く求めました…総務委員会報告

今議会の重要議案の一つ、行政組織条例の全部改正についての議案でいくつもの質問が集中しました。私が質問したのは市長公約との関係です。市長からはどういう指示があったかを問いました。具体的には、通年観光や企業誘致で必要だとしてきた東京事務所についてはどうなるのか、また、地域を元気にするためには地域自治を充実させるとしてきたなかで、自治部門が新たな総合政策部の一部門となったことは自治の後退につながるのではないかなどと質問しました。

答弁では、東京事務所はまだ検討中であることが明らかにされましたが、中川市政の任期のなかでの開設は微妙になってきたと感じました。自治部門については、企画政策などと一体的に取り組むとし、「自治の後退」にはならないという趣旨の答弁でした。

新年度の新規事業として、市は奨学金返還支援事業をスタートさせます。具体的には、「交付年度の前年度における奨学金返還額の3分の2相当額」を支援していくものです。新年度に、この制度の制定・周知の準備をし、令和6年度から支援を開始するとしています。年間で約80人が対象となる見込みだそうです。

私からは、「これまでの定住促進奨学金制度に続き、今回の新制度ができることは貴重な前進だ。若者定住を促進して

いく上で学費（軽減）の問題は大きな柱の一つだ。約80人を対象に3分の2の支援で9000万円だというなら、もう4000万円を出して100%支援してほしい」と訴えました。

これに対して企画政策部長は、「国の給付型奨学金も今後拡充されていく。今後のあり方について、改善を図るべく、いろんな情報集めて検討していきたい」と約束しました。

並行在来線対策事業では、昨年2月3日、市長が「在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会」との懇談で、「JR信越線から直江津駅で乗り換えるときに発生する料金について、令和4年度に徹底的に議論すると約束された。その結果が見えない。どうなっているか」と質問しました。

これに対して市側は、「初乗り運賃というよりも、その理解を含めて、どのように利便性を高めていくべきか（の問題と）ととらえた。運賃値上げも想定されるなかで、高校生を中心に、負担を軽減するための方法について考えるべきだということで、かなりそういった課題意識の中での内部的な検討を進めている」と答えました。今後の動きに注目です。

原子力防災対策では、県の3つの検証委員会のうち、特に避難の検証委員会での対策協議が極めて不十分であるにもか



かわらず、県は検証作業（全体）を終えようとしていることについて言及し、市民の命と安全を守る立場から県にしっかり検証するよう働きかけていくように訴えました。

これに対して八木副市長は、「私も基礎的自治体としては、一つ一つ解決していただくことが大事だ。市長が県にどのようにいうかは、よく議論し、申し上げていくことになる。市民の生命、財産は守るという部分は、基礎的自治体の責務なので、その責任はしっかりと果たしていきたい」と答えました。



朝市の風景。イラストは直江津の三八市で漬物売りをしているYさんを描きました。のぼり旗はそばの山川製菓店のもの。

高齢者の交通事故実態と2022年度からスタートしたドライブレコーダーなどの安全運転支援装置設置補助金について質問しました。昨年1月から12月までの交通事故は196件で、そのうち65歳以上の高齢者の事故は92件（47%）だとのこと。こうしたなか安全装置は、現段階で、ドライブレコーダー設置補助申請が541件、急発進等抑制装置の申請は40件で、金額にして103万8500円になったといっています。新年度予算は996万円ですが、予算が足りなくなった場合は補正予算などで対応するという答弁でした。

ドライブレコーダー等設置補助 予算不足の場合は補正予算も

【ヒメリュウキンカ】キンポウゲ科の多年草。漢字で「姫立金花」と書きます。別名はオウシュウキンポウゲ。草丈は10㍍～20㍍。葉はハート型で比較的濃い緑色です。けっこう長く黄色い花を咲かせます。強い日差しは苦手なようです。花期は3月～5月。花言葉は、「会える喜び、あなたに会える幸せ」など。写真は、柿崎区上下浜にて7日に撮影。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2101 2023.3.19

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七四九回

花に誘われて

この間の日曜日は遠くの景色が少しかすんでいたものの、晴れて気持ち良い日になりました。「この天気なら、花を見てもらえらる」と思い、朝早く、Mさんに電話をかけました。

じつは、先日、私の地元の代石神社の近くで咲くキクザキイチゲの写真をインターネットで紹介したところ、Mさんが「この場所素敵です。ぜひ見たいです」とコメントを寄せてくれたのでした。

Mさんは、この花の咲いている場所から車で五分くらいのところに住んでおられます。Mさんからのコメントには「わからなかったら電話ください」と返信したのですが、不愛想だったなと気になって電話をしたのです。

突然の電話にもかかわらず、Mさんは「見に行きます」と、とても喜んでくれました。

Mさんからは、日が照って、確実に花が開いている時間帯の午前十時過ぎに来てもらいました。キクザキイチゲは神社入り口付近からあちこちに薄紫色の花を咲かせていました。すぐに花を見つけたMさんは、「かわいい花ですね」と言いました。

私がインターネットで紹介した場所に行くと、想像以上に美しかったのでしょね、Mさんは、「こんなに近くにあるなんて……、素敵なところですね」と喜んでくださいました。すぐそばには地藏尊があり、花の先には雑木があって、空は薄い青空となっている。いい構図の写真が撮れます。Mさんは写真を何枚か撮りました。

坂道を歩きながら、咲き始めの頃の花、咲いてから時間が経った花などを紹介しつつ、自由民権運動家として有名な鈴木昌司の顕彰碑のところまで行きました。そこでは、「昔はここで、柿崎の花火をみたんですよ」「シヨウジョウバカマも咲くはずですよ」「鈴木昌司は国会議員までなった人です」

すが、金には苦労したようです」などと説明すると、Mさんは、興味深く聞いてくださいました。

顕彰碑のある広場でゆっくりした後、春や秋の祭りのときに旗を揚げる場所まで下りて二人で話を続けていると、友人のHさんが自転車で乗ってやってくる姿が目に入りました。まったくの偶然ですが、Hさんも、キクザキイチゲの花に惹かれて、この場所にやってきました。

Hさんは自転車の荷台に木製の小さなイスを載せていました。前の方のカゴにはちよっとした荷物もあります。Hさんは、「写真を撮ろうか、絵を描こうか迷ったんだけど、きょうは絵にしました」と言って荷物の中を見せてくださいました。スケッチブックとクレヨンが入っていたのです。この日はスケッチをするためにきたのでした。数日前にも来たそう、橋爪さんも来るだろうと思っていた」と語りました。

スケッチブックの中の絵も見せてもらいました。そのうちの一枚はフキノトウの花です。花はとても柔らかく、細かいところまでじっくりよく描かれています。

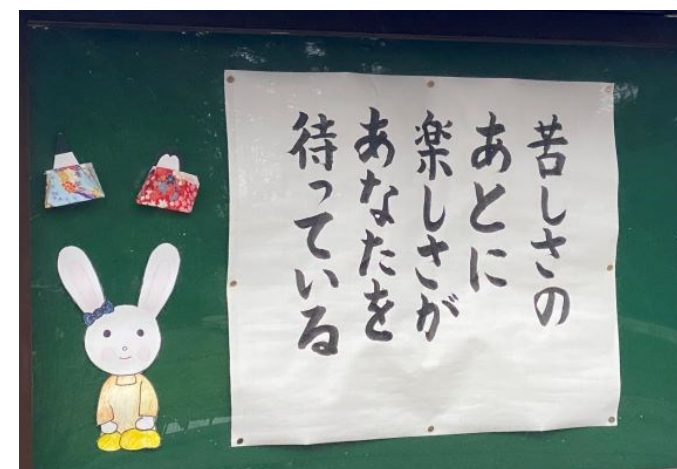
その後は絵や写真についての楽しいおしゃべりの時間になりました。

とても引き付けられたのは、Hさんが米山に行き、マンサクの写真を撮りに行ったときの話です。雨が降った翌日、カンジキをはいて米山に登ったら、前日降った雨が木の枝にくっついていて、サンゴのように美しかったと言います。つららもたくさん下がっていて、偶然、そのつららが一斉に落ち始めた時の音がすごく、地面につららが次々と突き刺さった光景がまた見事だった……。一生に一度出合うかどうかという場面の話にはドキドキしました。

Hさんは、その後、小さなイスに座ってキクザキイチゲをスケッチされたはずですよ。どんな絵になったか気になります。

福島は事故は忘れない、再稼働は許さない

11日は東日本大震災、東京電力福島第一原発の事故から12年の日でした。「つなげよう脱原発の輪、上越の会」の皆さんなどを中心に午後2時半から上越大通りで、柏崎刈羽原発の再稼働を許すな、レスタANDINGを行いました。参加者はそれぞれの思いをスピーチしました。午後2時46分には黙とうをしました。



私の地元、吉川区代石にある浄土真宗本願寺派寺院・善長寺の掲示板です。「苦しみのあとに楽しさがあなたを待っている」の希望を持てるやさしい言葉に励まされます。それにしても、今回もまたウサギが大活躍ですね。かわいいウサギです。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月8日(水)	3月15日(水)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.043	0.040
名立分遣所	0.057	0.063
高士分遣所	0.047	0.053